

申請チェックリスト(承認工事)

申請書

- ☐ 必要事項の未記入は無いか
- ☐ 数量、延長等の工事内容が図面と整合しているか
- ☐ 工期の期間 * 年末年始は工事の抑制期間があるため要確認
- ☐ 植栽が含まれる場合は3部提出

承認書

- ☐ 申請書と合わせて作成

添付書類

位置図

- ☐ 申請地が分かる位置図(広域図1/2500程度)
- ☐ 申請箇所が分かるように表示する

公図または地積図の写し

- ☐ 申請地と道路部分の資料 図に申請箇所を表示する
資料取得場所：公図→法務局 地積図→資産税課

保安設備図

- ☐ 工事箇所と道路箇所の区分をカラーコン、コンバー、赤色灯等で分けて、通行者に支障とならない図面
- ☐ 車道片側2.5m以上確保 → 確保できない場合は車両通行止めとし、迂回路図
- ☐ 歩道を工事する場合は0.9m以上の仮歩道確保
* 民地を仮歩道として使用する場合は砕石敷、ゴムマット養生等

平面図

- ☐ 構造物の延長及び口径等、掘削幅、本復旧幅が分かる図面
- ☐ 車道、歩道、道路側溝、ショルダー、地先境界ブロック等、既設構造物の寸法を明示する
- ☐ 舗装本復旧は掘削面から300mmの影響幅を付ける
* 絶縁線と本復旧との離隔が1.2mを下回る場合は合わせて本復旧

縦横断面図

- ☐ 埋め戻しの舗装構成の断面
舗装6mまで 1層 密粒As t=50 底面プライムコート
舗装6m超える 2層 密粒As t=50 タックコート 粗粒As t=50 プライムコート

側溝入れ替えをする場合

- ☐ 側溝入れ替えの縦断面図を添付する
- ☐ 官民境界沿いに側溝を新設すると、既設と新設の間の側面にズレが生じるため、内空側面に擦り付けCoを施工する。また、側溝道路側のズレの箇所にも、t=100程度の補強Coを長方形に施工する。底面にズレが発生する場合は、上流下流と一定勾配にてt=30以上の底打ちCoをする。底打ちCoの厚みの確保できない場合は、製品を深型にする。

既設PU-1側溝を利用する場合

- ☐ PU-1側溝にフタ掛けをする場合は、両サイドに厚み $t = 100$ の補強Coを施工する。
ただし、道路舗装面と補強Coを施工した側溝に適正な横断勾配が確保できない場合は、PU3側溝等への入れ替え又はグレーチング+補強コンクリートとする。

構造図

- ☐ 使用材料の承認図もしくはカタログ

現地写真

- ☐ 占用(工事)箇所の場所の分かる写真 * グーグルマップNG (ストリートビュー)